

小学校 主題「常識を見つめる」 A-(6)真理の探究

教材名 (出典) — 常識のタガ (まなびで“きびる”プロジェクト)

内容項目の学年段階とキーワード



「内容項目」とは児童・生徒が人間として他者とよりよく生きていく上で学ぶことが必要と考えられる道徳的価値を含む学習内容です。また、道徳科の目標である道徳性を養う手掛かりとなるものでもあります。

小学校高学年

真理を大切にし、物事を探究しようとする心をもつこと。

自分事に考えるキーワード

真理を大切にする自分
物事を探究しようとする自分

中学校

真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうと努めること。

真実を大切にする自分
真理を探究する自分
新しい物を生み出そうとする自分

内容項目の押さえどころ



内容項目に含まれる「道徳的価値」の意味や意義を理解しておくことは、児童・生徒のどのような心(道徳性)を育てていくのかを具体的に考えることにつながっていきます。

「真理を大切にする心」と「探究しようとする心」に込められている意味を押さえましょう。まず、「真理を大切にする心」とは、誰も否定することのできない普遍的で妥当性のある、物事の正しい筋道を大切にすることと捉えることができます。いかなる時代においても、人間としてよりよく生きていくためには、人間としての生き方における真理を考え続けていくことが大切です。同時に、今のままでよいのかを見つめたり、積極的に新しいものを求め、今の生活を工夫したりしていこうとする心を育てていくことも大切です。

次に、「探究しようとする心」とは、知らないことを知りたいという欲求から生まれる疑問を大事にし、物事のわけをよく考えたり確かめたりしようとする心と捉えることができます。特に、変化の激しい現在や社会においては、主体性をもって柔軟に物事に対し、客観性や実証性、再現性のある科学的な探究心を育て、新たな自己をつくっていくことが大切です。

なお、このような探究心は、例えば、第1学年及び第2学年の段階においては、「よいことと悪いこととの区別をし、よいと思うことを進んで行うこと」、第3学年及び第4学年の段階においては、「正しいと判断したことは、自信をもって行うこと」などに関する学習でも育まれます。

第5学年及び第6学年の段階においては、2学年を通して、「自己をより創造的に発展させ、科学的な探究心とともに、物事を合理的に考え、真理を大切にしようとする心」が育まれるような授業を心掛けましょう。

内容項目から見る児童・生徒の姿



内容項目に含まれる「道徳的価値」を基に、児童・生徒の姿を捉えておくことは、適切なねらい、内容、方法、評価を考えていくことにつながっていきます。



小学生（高学年）

児童は自己のよりよい成長をめざそうとする反面、次第にやすきに流れて現状に甘える傾向も見せるようになります。そのため、このような状況を乗り越えて、物事の真の姿を見極めようとする意欲を高めたり、感じ方や考え方をより創造的で可能性に富むものになっていったりして、くことが望ましいです。



中学生

生徒は人間としての生き方や社会の仕組みなどについての関心が高まってきて、うそや偽りを憎み、真実を求め、真理を探究しようとする思いが一層強くなります。また、入学して間もない時期には、新たな分野を学び始めることで、新しい知識や技能を獲得することへの好奇心や興味・関心・意欲も高まっています。しかし、学年が上がるにつれて、学習の成果が出ないことで努力を諦めてしまったり、すぐに結論を求めるあまり、一面的な見方になって「これしかない」と思い込んでしまったり、他の見方や意見を受け入れられなくなってしまったりすることがあります。また、流行やうわさ、メディアからの情報に敏感なあまり、真実を確かめようとしないです簡単に信じてしまうこともあります。

内容項目を基にした学習内容例



内容項目を基にした「学習内容」を設定していくことは、授業の中で、何を学ぶのかを明確にしていくことにつながっていきます。

小
5
↓
小
6

- ① 物事の本質を見極めようとする知的な活動の中で、どのようなときに自分の興味や関心が湧くのかを考える。
- ② 物事を多面的・多角的に見ようとする開かれた心をもって、疑問を探究し続けることの大切さを考える。
- ③ 生活の中で思い付いたことをそのままにすることなく、自分の生活を少しでもよりよくしていくためにはどのような工夫があるのかを考える。

中
1
↓
中
2
↓
中
3

- ① 学習体験を振り返りながら、分からないことを謙虚に受け止めて探究し続け、真理や真実を求めつつ、好奇心をもって意欲的に学び、工夫して新しいものを想像していこうとすることの大切さを考える。
- ② 広い視野に立って多面的・多角的に見ようとする開かれた心や、結論を鵜呑みにせず論理的・批判的に考える姿勢がどうして必要なのかを考える。
- ③ 疑問や問いを探究し続けることが、どうして新たな見方や考え方の発見や創造につながったり、自分の生涯を豊かにしたりするのかを考える。
- ④ 真実や真理を探究して社会の発展や学問、科学技術に貢献した人々の生き方から、それらの人々の探究心を支えたものがどんなものなのかを考える。
- ⑤ 高等学校段階への発展を踏まえ、葛藤や論争のある問題を道徳的な視点で取り上げ、よりよい解決にはどのようなものがあるのかを考える。

学習指導過程例



道徳科における「学習指導過程」とは、教材や児童・生徒の実態などに応じて、どのように展開していくのかを示すものです。一般的には、導入、展開、終末の各段階に区分し、児童・生徒の学習活動、主な発問と予想される反応、指導上の留意点などで構成されることが多いです。

学習活動・内容 発問	予想される児童の反応	指導上の留意点	分
<p>1 自分の中にある常識と知っている事柄を見つめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 虹は何色からできていると思うかな？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 7色だと思う。だって、本に書いてあるし、そんなのは常識だと思うな。 ○ 7色と習ったけど、もっとあるのかな。 ○ 6色とっていたけど、やっぱり7色なのかなと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個々の考えを引き出すために、ICTを活用してアンケートを行う。その後、「本当にそうなのかな？それは常識なの？」と問い返し、本時の学びのテーマを「常識を見つめる」と設定する。 	10
<p>2 教材を黙読する。その後、僕の心の様相を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> どうして僕は「常識」という言葉に悩んだり、こだわったりしているのかな？ (中心発問) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 僕の考え方は本当に間違っているのかなと疑問に思ったからだと思う。 ○ 友達は常識と言っているけど、本当にそうなのかと真実を調べたくなったからだと思う。 ○ 僕の考えも友達の見方も当てはまっているし、もっといろいろな常識があってもよいと思ったからだと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教材内容の把握度を高めるために、読みの視点「僕が大切にしている考え方」を伝え、抑揚を付けて範読する。その後、感想交換の場面を設ける。 ・ 真理を求める態度の在り方を多様な視点から考えられるようにするために、以下の例を留意して問い返す。 【問い返し例】 ☆どうしてそう思うのかな？ ☆常識と言われても、そのままにしない僕をどう思うかな？ ☆僕の考え方ですごいと思うところはどこかな？ 	
<p>3 僕の心の在り方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> 「常識のタガを外す」という考え方は、僕の心をどんな心にしていくのかな？ (深い学びにつながる発問) </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ もっと新しいことを考えたいなと思う心だと思う。 ○ 今まで何となく常識と言う言葉に悩んだりこだわったりしていたけど、それを外すことで、今までとは違った考え方ができるのかなという期待する心だと思う。 ○ 一つの考えが全てではなくて、それに縛られない考え方をすると、もっとすごいことが見つかるのかもという心だと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 探究の在り方やよさを、多様な視点から考えられるようにするために、以下の例を留意して問い返す。 【深い学びにつながる問い返し例】 ☆どうしてそう思うのかな？ ☆僕の感じた新しい自分とはどんな自分なのかな？ ☆今の自分の心の中に、「常識のタガ」があるとしたら、どんなものだと思うかな？ ☆「常識」って言われているのだからタガを外さなくてもよいのではないのかな？ ☆一つの事柄をいろいろなところから考えていくと、今の自分の心はどうなるのかな？ ☆今の自分だったらどんな常識から考えていきたいかな？ 	28
<p>4 これからの自分の生き方を考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> これから先、多くの常識と言われることと出会う中で、どんな心を大切にしていきたいかな？ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 疑問に思ったことはそのままにするのではなく、自分で納得できるまで答えを探し続けていく心を大切にしたいと思った。 ○ 一つの考えに縛られるのではなく、いろいろなところから答えを探して、自分らしい、そして新しい考え方を探していく心を大切にしたいと思った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学んだことを自分の生き方につなげて考える一助として、「私たちの道徳小学校5・6年」p42掲載教材を紹介する。その後、左記の発問を行い、学びの振り返りにつなげる。 ・ 多様な考えに触れ合わせ、視野を広げるために、必要に応じて発表の場面を設ける。なお、子どもの学びの振り返りは、学級通信等を活用して家庭に届け、保護者との関わりにつなげる。 	38
			45

評価の視点のポイント



道徳科における「評価」とは、児童・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取っていくことです。

何事にも開かれた心で見つめたり、疑問を多様な視点から探究し続けていこうとすることを自分の事として考えたり、多様な見方や考え方で探ったりしている姿を見取る。